

森林塾通信

『これがいのちに導く道』
 通年コース第十・十一回開催報告「見学、林道設計」

発行 KOA森林塾 (事務局) 0265-70-7065
 編集 早川清志
 題字 島崎洋路



まずは平面測量、高低角は7度で



ポールで地山の傾斜を知る横断の測量



測量したところを歩道として作設

通年コース第10・11回
 市場見学・間伐・林道設計
 9月18・19日 (金・土)
 一日目は木

『これがいのちに導く道』は高村光太郎の『道程』の一節です。山林の中を走る林道、作業道はまさに「人を森のいのちへと導く道」なのではないでしょうか。

戦中、戦後の国内の山林を過剰伐採していた時代は年間、1億立米の木材を生産し、国内の総需要を賄っていましたが、1960年代でも約6000万立米も生産されていた国産材は、木材の自由化が始まると

代わり、人はどんどん山から遠ざかってしまいました。そしていま、人工林は手入れが滞りがちにもかかわらず、日本全体としての木材蓄積量は増え続け、量的には国内の年間需要量すべてをまかなえるだけの森林となりました。さて、これを低コストで効率的に収穫するためにはやはり林道、作業道等の整備が欠かせません。

ヨーロッパの木材輸出国、ドイツ(118m/同)、オーストリア(89m/同)などと比べると大きく劣っていることがわかります。各都道府県では、林野庁の指示作設指針を基本としたうえで、独自の指針を作り、路

作業者の育成も急いでいるようです。森林塾では保育の時代から収穫期に移行しつつある人工林の変化にかんがみ、林道設計を復活させました。一日では入口のさわりしか勉強できませんが、まずは歩道から始めて、少しずつでも道が入れば、おのずと人々が山に戻ってくるのではないのでしょうか。



作業終了、完成した歩道を通って帰る

整備を進めたい。整備を進めたい。整備を進めたい。

響か、長野県森林組合連合会の伊那木材センターの土場に並べられた丸太の、椋山は多くはありませんでした。定期的にアカマツなどの出荷も控えられており、メインはヒノキのようでした。中谷所長さんをお願いしておこった模擬入札の結果は右表のとおりで、塾生の皆さん

公売明細書			平成27年9月18日			伊那木材センター		
極番	樹種	長さ	末口	本数	材積	落札価格	落札者	市売り値
		m	cm	本	立米	千円		千円
1	ヒノキ	3.0	14 ~ 16	46	3.092	15.	チカハウス	15.
2	ヒノキ	4.0	24 ~ 26	11	2.690	18.	ARU 製材所	18.5
3	ヒノキ	4.0	18 ~ 22 小曲	35	3.842	15.	イズミ木工	17.
4	ヒノキ	3.0	16 ~ 18	25	2.265	16.	ARU 製材所	17.
5	ヒノキ	3.0	20 ~ 22	9	1.105	18.	Sweets 設計	17.

材市場の見学の後、午後は前回と同じ野底の山林での間伐実践でした。秋雨前線の影



カメラと先生に見つめられて

模擬入札、買い方はシブチン揃い

所長の案内で極山を見て回る

今回は2、3本の伐倒でしたが、もうこれ

カメラと先生に見つめられて

鳥崎先生と、岐阜県立森林文化アカデミー時代の教え子である伊藤さんが先生の取材の傍ら顔を出されました。

今回は2、3本の伐倒でしたが、もうこれ

模擬入札、買い方はシブチン揃い

価格ももう一段、二段上がってくればいいですね。市売りの見学は誰でも出来ます。そして保証金の10万円さえ用意すれば入札にも参加OKです。9月9日の前回市を見学させてもらった時に、ソノタ広(広葉樹)やナラ材が1立米(軽トラ2杯分ほどか)、数千円〜1万2千円ほどで競り落ちていましたので、スリーブ新用に使えば結構割安かもしれません。

午後は野底の山林で間伐の復習をしました。

鳥崎先生と、岐阜県立森林文化アカデミー時代の教え子である伊藤さんが先生の取材の傍ら顔を出されました。

所長の案内で極山を見て回る

の『買い方』は、どうにも『シブチン』ぞろいでした。4番極の3.5寸角のヒノキ柱材が一本1500円ほどですから、底を這っているような素材価格ではないでしょうか。

11月26日(木)に行われる予定の記念市あたりからアカマツも出荷されるようになるはずですし、取扱量も大幅に増えると思います。価格ももう一段、二段上がってくればいいですね。市売りの見学は誰でも出来ます。そして保証金の10万円さえ用意すれば入札にも参加OKです。9月9日の前回市を見学させてもらった時に、ソノタ広(広葉樹)やナラ材が1立米(軽トラ2杯分ほどか)、数千円〜1万2千円ほどで競り落ちていましたので、スリーブ新用に使えば結構割安かもしれません。

で4回目のチェインソー実習、塾生の皆さん、着実に腕前を上げています。

参加者/有賀さん、小口さん、小池さん、渋沢さん、水津さん

スタッフ/和泉、早川

次回以降の予定

通年コース第12・13回

10月16日・17日(金・土)

枝打ち・労働安全衛生教育(伐木造材)

17日(土)の労働安全衛生教育は8時間、室内での学科です。8時20分までに箕輪町中箕輪のKOA本社においてください。広域農道と中央道の間で、伊北方面からは農道の中曽根の信号を左折、300mほど行き、カーブミラーのある三つ角を右折し100m、最初の門を入り、左前方の駐車場の奥のロビー(こげ茶色の風除室あり)が集合場所です。道に迷った方は早川携帯へ。

「伐木造材業務従事者必携」のテキストをすでにお渡ししてある方は忘れないように。飲み物、お弁当、筆記用具。

16日(金)は枝打ちの実践です。まずはブリーフを作つて、ロープ一本で木に登つてみる練習をしてみましょう。大人になつても木登りは楽しいものですよ。ご期待ください。この日は鳩吹集会所に8時20分集合です。

通年コース第14回

10月24日(土)

建具店見学・材積計算

午前中は立木と丸太の材積計算の勉強をします。まだ持っていいたら、測樹のプリントをご持参ください。午後には有賀建具店さんに伺う予定です。電卓

8時20分 鳩吹集会所集合

集中コース(秋)

11月6日・8日(金・日)

測樹(施業診断)とチェインソーを使った間伐の3日間です。調査 分析 施業(間伐)という流れで、KOA森林塾のエッセンスを、わかりやすくお伝えします。お迷いの方、ぜひご参加のご検討を。

専門コース第4回開催

11月20日・21日(金・土)

専門コースの今年度最終回です。皆さん随分上達してきています。正確さに磨きをかけて、伐倒を完全に自分のものにしませう。

通年コース第15・16回

11月27日・28日(金・土)

炭焼き・山林見学など

移動式炭化炉を使って、泊二日で炭焼きをしてみます。点火後、夜を徹しての火の番です。忘年会も兼ねて。二日目炭出しの後、半日くらい何か希望があれば、それを。なければ保科先生の山林見学の予定。

『自分の伐倒ルーチンを作る』

3年前から間伐の補助金体系が変わり、搬出を伴わない間伐には補助金が出なくなりましたが、それでも市場

ある面積を間伐する場合、切る木の順番、切り倒す方向、使う道具など、選択肢は幾通りかはあると思います。でも安全で確実な最適値はその選択肢の積み重ねの中のみならず、ひとつひとつではないかと思えます。間伐を行う時に、保残木に傷をつけてしまったら何のための間伐か、ということになります。伐倒全般がアバウトになり始めると、動作すべてがどンドン甘い方向にシフトし、どンドン手抜きとなり、それは安全面に関しても悪しき方向に向かっているはず。すなわち、手抜きをせず最大の安全に備えることが、結局は保残木を大事にすることにつながることであり、最も効果的で最適値に近い、有意義な間伐になるのではないかと考えます。一つ一つの動作や手順にこだわりを持って、ご自分の伐倒ルーチン化していただければと思います。



傾いた大径木を斜めに倒す



追いヅル切りという手法で安全に

価値が低く、集材しても元が取れない間伐材の多くは切り捨てられています。切り捨ての場合、ぎりぎり地際から伐倒する必要もなく、必然的に枝払いもおろそかにな

山林(やま)のトリビア 『今年はキノコの当たり年』

ここ信州では8月は前半が少雨で暑く、お盆以降良く雨が降りました。そして9月に入ってから残暑厳しい



ホンシメジとコウタケも人気あり

山盛りのマツタケが並ぶ

日もあまりなく、緩やかに気温が下がってきました。そして週に1、2日は雨が降る。こんな年はマツタケを始め、他の雑キノコも豊作のようです。あの有名な伊那市の産直市場、グリーンファームでもマツタケが所狭しと並んでいます。そして絶滅危惧種かと思うくらい最近見な

い、味ではマツタケを凌ぐホンシメジや、香りではきのこで一番、という人も少なからずいるコウタケがたくさん並んでいます。

さあ、9月の終わりの声を聴き、ナラタケやショウゲンジ、サクラシメジが終わりか



ツバ有りショウゲンジ

の後、半戦に入ります。天気も落ち着き、山に入るには良い季節です。でも中毒にはご用心。キノコを採るコツや、危ないキノコを食べない方法を考えてみましょう。

名前のわからないキノコは採らないで

信じられないことですが、見た目で判断して美味しそうな色、姿、形で採る方がいます。山中でたまたま食べた知り合いのご夫婦が、クサウ



ほろ苦さが売りのキシメジ

会い、あわてて注意したことがあります。食べても症状は重篤にはならないようなので、隠れ中毒患者も多いといわれています。3大食中毒菌の一つです。ハナイグチ、ヌメリグチ、アマタケ、ショウゲンジ、クリタケ、キシメジ、コウタケ、ナラタケ、ハツタケなど、名前がはつきりわかり、自信のあるものを10〜20種類覚えれば、キノコ採りは十分楽しめます。

迷信(言い伝え)を信じないで

柄が縦にきれいに裂ける、虫が食っている、キノコは派手な色(おとし)



クサウラベニタケ危険



中毒菌第1位ツキヨタケ

なし。色のものは大丈夫、ナスと一緒に煮たら大丈夫、煮た汁だけならあたらさない、など色々な言い伝え(のようなもの)があります。これらはすべてウソ、迷信です。クサウラベニタケやこれも3大食中毒菌といわれるツキヨタ



採るなベニテングダケ

ケは柄が縦に裂けます。ベニテングダケやツキヨタケはよくナメクジにかじられています。毒性のあるカキシメジやウサウラベニタケは実におとなしい色で、とても美味しいタマゴタケは真っ赤っか。ナスにはそんな神通力はありませんし、具はやめても汁だけでも中毒します。

生えている環境を知る

マツタケは松の生える尾根沿いによく出ますが、そんなところにはクロカワヤコウタケもよく出ます。少し裾に下りるとキシメジやショウゲンジ、アマタケも似たような環境が浮き。広葉樹とアカマツが混在する山林は色々なキノコが生えていて楽しい山です。

カラマツ林につきものなのは、ハナイグチ。北海道ではラクヨウキノコというところで、かわいくて味も抜群。ベニテングダケはシラカバ林など、そのキノコの環境を知れば覚えやすい。木から出ているか、土から出ているか、クリタケやナラタケ、エノキダケ、シイタケなどは木材腐朽菌なので枯れ木、枯れか

かった木から出ます。一方マツタケやイグチ類などは土から生えるもので、アカマツと共生しているマツタケのように菌根性菌類も多い。菌根性のもは栽培が困難です。こんな区別も武器です。

食・毒セットで違いを覚える

ツキヨタケはシイタケやヒラタケによく似た毒キノコです。見分けるコツは柄の輪っかと、柄を裂くとあらわれる黒いしみ。クリタケとニガクリタケも幼菌はよく似ています。少しかじってみて、とんでもなく苦かったら間違いないニガクリタケ。吐き出せば中毒はしません。クサウラベニタケとウラベニホテイシメジ、カキシメジとチャナメツムタケ。食菌と似た毒キノコは区別をはっきりと覚えましょう。紛らわしかったら持って帰らないこと。うる覚えのキノコを親類やご近所に配るなんて、そんな恐ろしいことは慎みましょう。

食べ過ぎればお腹を壊す
そもそもキノコは消化が悪い。優秀な食菌でもたくさん食べればお腹を壊します。大きなマツタケのシロを見つけて、「一度腹いっぱいマツタケを食べてみたい」という夢を、相棒と二人で実現させたひささん。でもすぐにお腹がごろごろ言いだし、トイレ

駆け込む。あんな苦しい腹痛は初めての経験だったと後日談。全く食い意地の張った彼の人は大学の先生でした。**当たるも八卦当たらぬも八卦**

食・毒の境界線のようなキノコもあります

キノコもありません。キシメジは外国では中毒事例があると記述している本もあります。同じキノコを同じように食べてもなんともない人とお腹を壊す人がいますし、その時の体調でも反応が違います。「このキノコ食べられますか?」と保健所で聞いたら、「そんなことは私にはわからない。」と言われ、えっ!!と思いましたが、名前と、毒性があるかどうかは教えるが、食べた後どうなるかはあなた次第です、という説明で、なぜか納得、目から鱗で



死の天使ドクシン

ながら食べると酩酊状態になる、と言われていました。10年ほど前、それまで東北地方などで普通に食べられていたスギヒラタケが、高齢者や腎臓に病歴を持つ人に脳症にかかる可能性が指摘され、以降「毒性あり」に変わったという事例もあります。

リレー通信

「木とともにある暮らしが したい」 唐澤 幸恵

鋸ぼくのこと(序章)

太陽があつくさす森の中
に

ぼくはうまれた

ドキドキ、わくわく

ぼくは、うまれたことが

嬉しかった

だから、ぼくは、

前に立つ木に、話しかけた

「こんにちは」

「.....」

返事がない

聞こえなかったのかな

「こんにちは」



どこにでも、
木は居る。家も
家の中にも

「.....」
前に立つ木は、
ぼくをみることはなかつ

た
だから、ぼくは、
隣に立つ木に、話しかけた

「こんにちは」
「.....」

返事がない。
隣に立つ木は、
ぼくをみつけれぬけれど、
近づくとはなかつた

だから、ぼくは、
鋸をまとった

「ある、木、の物語」より

空了わたしのこと(序章)

木とともにある暮らしが
したい.....

いつの頃からだろう、そう
強く思うようになったのは。
外でボーっとしていた幼き
頃の記憶。中身は何にも覚え
ていない。気がつけば自然の
中でボーっとしている、こと
に気がついた。とにかく大自

然に溶けて
ボーっとして
いた。ボーっと
することを忘
れていた時期
もあつたけれ
ど、やっぱり私
の居場所。
森に還ろう

.....
どこにでも、
木は居る。家も
家の中にも

「木」だらけだ。木と一緒に、心
は落ち着く。
木は人を集わせる。まず
みヶ丘平地林に舞台を作る
う！の募集に参加。初めて出
会う、樵の方々。そこには森
林塾に関わりのある方々が
いた。もちろん、鳥崎先生も。
でもね、私は無知だったし、
人には関心がなかった。初め
てチェーンソーを持ち、アカ
マツさんを伐倒させていた
だけ。でもね、チェーンソー
の重いこと。私にはムリだ
と、すんなり諦める。
木に惹きつけられ、いろい
ろな場を巡る。
木とふれあう。切り捨て間
伐が多いと聞く。木はその根
から離れても生き続ける。何
かつくれるかな。それまでノ
コギリを持ったことがな
かった。トンカチは玄能とい
う名前なんだから。でも楽し
いな。木(木材)に囲まれ、
木と向きあい、木のことばか
り考え、木とふれあい、木と
ともに過ごせることに悦び
があふれる。
木、木、木.....
木とともにある暮らし.....
木とふれあう悦びを一緒に
に感じたい。「木育」という
言葉を知った。時々、木と大
人たち子ども達と遊ぶ。木の
肌触りと香りが優しく人を
包んでくれる。
樵の方々との飲み会の席
で「森林塾に行ってみた

ら？」と容易く言われる。諦
めていたのに、木が私を押し
た。調べてみたら、なんとそ
の日は夏の集中コースの締
切日。翌日、問い合わせる。
「お待ちしています」と早川
さん。受け入れてくださり、
ありがとうございます。
チェーンソーは私には重
かったんだよねと不安いつ
ぱい。玉伐りをさせてもら
う。あれ？できるじゃん！私
にも持てる重さの物もある
と知る。鳥崎先生が作業され
ている森で実習が始まる。森
林簿、森林診断書の作成。
うーん、ヘクター！って？単
位に弱い私。すみません.....
小泉さん、早川さんのご指
導の下、3日間で3本伐倒さ
せていただきました。3本目
はクサジを使つて倒したい
と挑む。方向を定め、受口を
つくる。「どう？方向は合っ
ている？」と先生方。「大体
合っています」と私。「大体
じゃダメだ。あともう少し
どうなのか？」で答えて」と先
生方。あともう少し、も曖昧
だけど。でもね、なるほど、
大自然と向きあっている
方々は細かいことは気にな
らない.....木にならないもん
ね！私もおなじ「これでも行
けそうですよ」。行つちやい
ま！「目印のポールを擦り
ながら程よい所に倒れてく
れました。先生三人と受講生
三人、皆さん個性満載で和気

藹々と楽しい3日間。大変お
世話になりました。ありがと
うございました。
チェーンソーは、スパイク
に委ねる。人の身勝手な力尽
くじやダメなんだよね。道具
とも向きあう。伐採にもつと
挑戦したい。けれど枝払いの
裁きには、やっぱり重かつ
た。刃にヤスリを当てるのも
難しい。うーん、チェン
ソーの扱いは、私にはどうな
のかな？答えはまだ出さな
いでいようっと。
伊那に居て木とのふれあ
いの場に足を運ぶと、KOA
と必然的に出会う。そして伊
那谷には林業、果樹、造園、
製材、建築、大工、木工、樹
木医、森林インストラク
ター、チェーンソーアーティ
スト、学問などなど木と向き
合う職を生業とされている
方々がたくさんいる。木と人
と、人と木と。
木とともにある暮らしを
していく！
思い出そう。古来、人は木
と共に暮らしを営んできた。
先人の方々が育ててくれた
里山という庭。木を利用す
る。立ち木から人の手により
建物や家具、道具などに形を
変えて、木はいのちを繋ぐ。
人は木と、どのように関わり
を持ってきたか。これから
も、木と人はどのように付き
合っていくか。方法は多様に

ある。ゆつくりと、木々と会
話をしよう！
私が見たいこと。木とふれ
あい同化してボーっとする
こと。いろんな木々とおしゃ
べりすること。嬉しくって涙
があふれてくる。木々に愛さ
れてるって感じ。感謝いつぱ
い、ありがとうございま
すっ！
木とともにある暮らし。し
つこいけれど、私は木ととも
にある暮らしをしていきま
す。
森の中でボーっとしてい
る何かを見つけたら、それは
私です。不審がらずに声をか
けてくださいね。
「ある、木、の物語」.....木
は語る。ボーっと、木の物語
を一緒に聞きましょう！
「ある、わたし、の呟き」よ
り

「あわりに」
『実らぬ恋なら何の花？
真つ赤な港の彼岸花!!』(古
い?)などと口ずさむ今日こ
の頃です。最近土手草をきれ
いに刈ってしまったのであま
り見かけませぬね。

投稿大歓迎。ご意見、ご質
問は事務局まで
TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994
E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp

